

「あたりまえ」のその先へ行く

～ 全国の受験生へのエール ～

神奈川県立茅ヶ崎西浜高校

校長 神戸 秀巳

平成 22 年 1 月に始めた「全国の受験生へのエール」交換も今回で 5 回目となります。昨年は 14 県 24 校 41 名のエールが集まり、まとめたものをご協力いただいた皆様にお届けいたしました。

本校を含む全国の高校生だけでなく、茅ヶ崎西浜高校を志願する中学生、そして様々なチャレンジを続けている皆様に意識しながら、このメッセージを書いています。「二十年後の然（しか）るべき日本の姿を思い描きながら、‘人を育て’ ‘社会を育て’ ‘時代を育てる’」ことが、教育に携わる私たちの果たすべき役割と考えています。

私は何のために生きているのだろうか？私は何の役に立つだろうか？

秋田高校の第 28 代鈴木健次郎校長は、「汝（なんじ）、何のためにそこにありや」と生徒たちにたびたび問いかけました。「あなたの存在意義は何ですか？」という意味です。12 月 24 日の 2 学期終業式で、私は全校生徒に「存在意義」の話をし、次の 3 つのメッセージを伝えました。

- 存在意義のない人、何の役にも立たない人、生きる価値のない人は存在しない。
疑問を感じる人は、存在意義が見つからないか、気づいていないだけである。
- 人として一番大事なことは、「生きている」ことである。
自分の命を大切にし、前を向いてしっかりと生き抜くことである。
- 人は自分の存在意義を見つけたとき、確実に強くなれる。
人生は「自分の存在意義を見つける旅」とも言える。

私が心の底から尊敬し、畏（おそ）れるのは、「自分の信念に従いつつ、冷静かつ的確に状況を判断し、着実に歩を進める人」です。ノーベル化学賞を受賞した根岸英一さんの講演で、「へこたれても、へこたれても、へこたれない」との言葉を聞いた時、私は身震いしました。

※「畏れる」は自分よりはるかに力のあるものを尊い、怖いと思う気持ちを表わす意味。

最後に、万感（ばんかん）の思いを込めて、昨年と同じ言葉を贈ります。

「雨だれが石をうがつの、激しく落ちるからではなく、何度も落ちるからだ。」

（ハクレティウス＝共和制ローマ期の詩人・哲学者）

ぜひ、前進のエネルギーを引き出すキーワード「本気」「実践」「気づき」を胸に突き進み、自らの力で「未来への扉」を押し開けてください。神奈川県茅ヶ崎市から精一杯の応援を送ります。

平成 25 年 12 月